

(発送書類①)

2019（令和元年）年6月16日

関西教育学会会員 各位

関西教育学会第71回大会実行委員会

委員長 岡本 哲雄

関西教育学会 第71回大会案内

第71回大会を下記の要領の通り、関西学院大学にて開催いたします。午前中は自由研究発表、午後は「〈人を育てる人〉を育てる—いま、改めて大学における教育学教育の意味を考える—」というテーマで公開シンポジウムを予定しています。本大会に、多くの会員の皆さまがご参加くださいますようお願い申し上げます。

I. 大会の日程等

1. 日 時 2019（令和元）年11月16日（土）9：30～16：50

2. 場 所 関西学院大学

* 詳細につきましては、関西学院大学のホームページをご覧ください。

(https://www.kwansei.ac.jp/pr/pr_000374.html)

3. 参加費 3,000円（発表要旨集録代を含む）

4. 日 程

- | | |
|--------------|-------------|
| (1) 受付開始 | 8：40～ |
| (2) 自由研究発表 | 9：30～12：00 |
| (3) 昼食 | 12：00～13：00 |
| (4) 総会 | 13：00～13：45 |
| (5) 公開シンポジウム | 14：00～16：50 |
| (6) 懇親会 | 17：20～19：20 |

5. 公開シンポジウム

- (1) テーマ：「〈人を育てる人〉を育てる—いま、改めて大学における教育学教育の意味を考える—」
- (2) 趣旨

学校「現場」からの要請と教員養成における制度的拘束が強まる中で、大学の教員養成課程は外からの要請をただ受け入れることを強いられるだけで、大学教育の内側からの主体的な提言ができないでいます。教職教育の「現場」では、教職・保育職を回避し、一般就職に向く学生が増える一方で、高校にも教員志望コースなるものが設けられ、敷かれたレールの上を歩むことに疑問を抱かずに、教員に採用されてしまうこともあるかもしれません。これは低くない教員の離職率と関係しているでしょうか。

また近年、大学教育への社会の不信を背景として出現した、教育を計算可能なものと見立てる成果主義・評価主義的な教育

改革の世界的潮流は、大学において「精神の資本化」と「反教養の論理」(K.P. リースマン)を浸透させていないでしょうか。この論理で内部質保障の必要が声高に叫ばれ、教職課程にもコアカリキュラムの設定など、行政によるいわば「質の標準化の強制」が進んでいるように思えます。

そのような中、教員養成を目的とした大学の教育学教育は、ともすれば、教職の世界への適応(社会化と資格化)のみに関心が向きがちであり、学問(問いながら学ぶこと)を通して「(人を育てる人)になること」の意味をそれぞれの仕方で見せる、あるいはよりよき人類社会の在り方と次世代の育成を自分の課題として考えさせるという、「主体化」(G. ピースタ)を支える役割を薄めてきているとは言えないでしょうか。「大学」が問いながら学ぶ経験(考えながら行為し、行為しながら考える経験)を磨く「現場」だとすれば、ここで「(人を育てる人)を育てる」ことの意味とはどのようなことなのか。21世紀の今、学問としての教育学(広義)は、その原点に立ち返り、改めて問うてみることを避けてはならないのではないのでしょうか。少なくとも、今日の教職教育の現場の現状を、単なる制度上の議論やイデオロギー上の立場を超えて、大学教育(とりわけ教育学教育)の問題として本質的に問い直すことは、今こそ必要だと思えるのです。本大会では、3名のシンポジアストを迎え、各専門分野やご経験からのご提案をいただきながら、共に議論を深める機会にできればと思っています。

(3) シンポジアスト(内定)

- ・名古屋大学大学院教育発達科学研究科准教授 内田 良 氏(教育社会学)
 - ・奈良女子大学附属中等教育学校教諭、福井大学・奈良女子大学・岐阜聖徳大学
連合教職大学院准教授 鮫島 京一 氏(教師教育学、臨床教育学)
 - ・武庫川女子大学教育学部教授 松下 良平 氏(教育哲学、教育思想)
- 司会者、指定討論者等を現在調整中です。

* 詳細は、決まり次第、関西教育学会のホームページ等でお知らせします。

【**関西教育学会HP**】 <http://www.educ.kyoto-u.ac.jp/kansai-educ/taikai.html>

II. 大会プログラム

- ・10月中旬に発送する予定です。

III. 自由研究発表について

1. 発表申込: 次のいずれかの方法をお願いします(※【**発送書類②**】(自由研究発表申込書)参照)

(1) e-mail(電子メール)

- ・関西教育学会ホームページ(<http://www.educ.kyoto-u.ac.jp/kansai-educ/taikai.html>)にアクセスして「自由研究発表申込書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、第71回大会公式e-mailアドレス(jimukyoku2019@kwansei.ac.jp)に、添付ファイルでお送りください。

(2) 郵送

- ・同封の「自由研究発表申込書」に必要事項を記入の上、大会実行委員会宛に郵送してください(宛先は、〒662-0827 西宮市岡田山7番54号 関西学院大学教育学部 岩坂二規研究室気付 関西教育学会第71回大会 大会実行委員会事務局)。

2. 締め切り

・2019（令和元）年 7月24日（水）必着

3. 発表件数

- (1) 一人一件に限ります（共同研究発表を含む）。
- (2) 共同研究発表の場合は、全員の名前を記し、発表者に○印をつけてください。また、発表時には、原則として発表者全員がそろって出席していただく必要があります。どうしても出席できない場合には、必ず事前に大会実行委員会事務局に連絡をお願いします。

4. 発表時間

- (1) 個人研究発表：発表 20 分 質疑応答 10 分
- (2) 共同研究発表：発表 25 分 質疑応答 10 分（発表者が一人の場合は個人研究発表と同じ扱い）

5. 発表者の資格

- (1) 発表者は、本学会会員であり、発表申込までに 2019 年度会費を納入されている方に限ります（共同研究発表者も同様に会費納入をお願いします）。
- (2) 未入会で発表を希望される方は、発表の申し込みと同時に本学会への入会手続きを完了してください（入会時には会費の納入が必要です）。

※入会の手続・会費（2019 年度会費 5,000 円）の納入は、関西教育学会事務局までお願いします。

○関西教育学会事務局（京都大学大学院教育学研究科内）

TEL 075-753-3030 FAX 075-753-3030 /郵便振替 01020-2-21281

6. 発表申込みの受領の通知

- (1) メールによる申込の場合：メールで「**発表申込み受領通知**」をお送りします。
- (2) 郵送による申込の場合：郵送で「**発表申込み受領通知**」をお送りします。

- 8月2日（金）までに「発表申込み受領通知」が届かない場合は、必ず、大会実行委員会事務局宛に問合せを行ってください。なお、「発表申込み受領通知」は、自由研究発表の申込みがあったという事実を通知するものです。申込みの受領後、大会実行委員会事務局では学会事務局と連絡を取り合い、該当会員の自由研究発表資格の有無の確認作業を行います。
- 発表資格が有ると確認できた場合は、該当会員に「自由研究発表資格確認済通知」を8月31日（土）ごろまでに送付する予定です。それまでに「自由研究発表資格確認済通知」が届かない場合は、すみやかに、大会実行委員会事務局宛に問合せを行ってください。

7. 予定する分科会（発表申込の内容に応じて変更する場合があります）

教育学、教育思想・哲学、教育史、学校教育、教育方法、教育心理、教師教育、高等教育、生徒指導、比較教育、幼児教育、教科教育、特別支援教育、臨床教育 等

8. 発表要旨集録原稿の提出

- (1) 発表者は、後日に発表要旨集録原稿を執筆して、大会実行委員会に提出してください。
要旨集録原稿の書式や提出方法等の詳細については、同封しています【発送書類③】（執筆要領等）にてご確認ください。
- (2) フォーマット等につきましては、同封しています【発送書類④】（フォーマットのイメージ）と【発送書類⑤】（記入例）、また、関西教育学会ホームページでアップロードされているファイル（ダウンロードできます）等でご確認ください。
- (3) 締め切り：2019（令和元）年9月6日（金）必着

IV. 今後の日程

発表申込み締め切り	2019（令和元）年7月24日（水）必着
「発表申込み受領通知」の到着	2019（令和元）年8月2日（金）までに
「自由研究発表資格確認済通知」の到着	2019（令和元）年8月31日（土）までに
発表要旨集録原稿締め切り	2019（令和元）年9月6日（金）必着

V. 懇親会

- (1) 公開シンポジウム終了後、関西学院会館内「翼の間」（上ヶ原キャンパス内）で行います。
- (2) 参加費：3,000円（学生は1,500円）の予定です。

VI. 問い合わせならびに連絡先（大会実行委員会事務局）

（1）お問い合わせは、できるだけe-mail（電子メール）でお願いします。

- (2) 郵送による発表申込ならびにお問い合わせの宛先は、下記の通りです。

〒662-0827 西宮市岡田山7番54号 関西学院大学教育学部 岩坂二規研究室気付

関西教育学会第71回大会 大会実行委員会事務局 宛

（電話による対応はできませんので、ご了承ください）